学校番号	213

令和８年度　公民科

教科	地歴公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 改訂版　公共(第一学習社)						
副教材等	2026　最新図説　公共（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の歴史総合、地理総合で学んだ知識をもとに新たな公共の知識を上積みしていきます。授業で取り扱う知識を習得することは当然ながら、得た知識をもとに思考できるように努力すること。授業中は単に板書を写すだけでなく、説明内容、考え方、疑問点などをメモし、ワーク等にも積極的に参加することで主体的な取り組みを評価します。レポート等の課題もネット等から単に写し取るだけでなく、自分の言葉で表現し、意見を述べるようにすること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	現代の諸課題を考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1編 公共の扉	第1章　公共的な空間をつくる私たち Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主･自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a:・人生の中で青年期の意味を，自らの体験などを振り返ることで，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともに，よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b:・公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主･自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。・地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，異文化などの他者との協働により，人間としてのあり方・生き方を多面的･多角的に考察，表現している。 c:・公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	･定期考査	・定 期 考 査 ･資料の読み取り	･プリント提出 ･課題の提出

	第1編　公共の扉	第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a：・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・環境保護や生命倫理に関する事例をもとに，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに，行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としてのあり方，生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 b：・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。 ・幸福，正義，公正などに着目して考えている。 ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c：・公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・資料の読み取り	・プリント提出 ・課題の提出

2学期	第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第3章　経済的な主体となる私たち 主題⑧　雇用と労働問題 1私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題 主題⑩ 市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a:・仕事と生活との調和という観点から，雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。・三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちは，どのように経済活動に参加しているのか，理解している。・経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:・雇用と労働問題について，日本的雇用慣行の崩れなど，現代の諸課題を主体的に考察，構想し，論拠をもって表現している。・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について，具体例をあげて多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。・価格の変化が，消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか，さまざまな観点から多面的・多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。・市場機能の限界に対する公共財の供給について，政府の役割を多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。・外部不経済の典型例である公害について理解し，公害を防止し環境を保全するための方策について考察，構想し，論拠をもって表現している。・経済成長が生活に与える影響を，具体的事例をあげて考察している。 c:・雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。・市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・資料の読み取り	・プリント提出 ・課題の提出

	第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	主題⑪　金融のはたらき 1 金融の意義や役割 主題⑫ 財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	a：・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。・資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：・他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。・財政政策の意義，日本の財政の課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について，具体的に事例をあげて考察，構想し，主体的に考えている。・社会保障の意義を理解し，現在の社会保障の課題について考察している。・社会保障制度の充実・安定化に関し，各国の租税負担など財政状況を比較しながら，日本の社会保障制度の諸課題を多面的・多角的に考察，構想，表現している。 c：・金融のはたらきについて，現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。・財政の役割と社会保障について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・資料の読み取り	・プリント提出 ・課題の提出

3学期	第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	主題⑬　経済のグローバル化 1国際分業と貿易 2国際収支と国際経済体制 3外国為替相場の動き 4グローバル化する経済 5地域的経済統合 6国際社会における貧困や格差 9国際社会のこれから	a:・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。・グローバル化の進展により，貧困や格差の問題，地球環境問題などの解決が，地球的な課題となっていることを理解している。・国際経済問題の解決には，国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。・地域的経済統合がもたらす影響について理解している。・国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について，国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。 b:・貿易の意義，円高・円安が生じる理由，貿易摩擦などについて，考察，構想し，表現している。 c:・国際協力のあり方，国際協調の重要性から，日本の役割について自分自身の問題として，主体的に解決しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・資料の読み取り	・プリント提出 ・課題の提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度